

県を動かす 我孫子市に!

やる気! 元気! ゆうき!

千葉県議会議員〈我孫子市選出〉

みずの

水野ゆうき

無所属
40歳

水野ゆうきプロフィール

- 1983年(昭和58年)我孫子市生まれ、育ち、在住
- 我孫子市立第四小学校入学、米国ロサンゼルス現地校編入、帰国後は私立茗溪学園中学校編入・同校高校卒
- 津田塾大学学芸学部国際関係学科卒
- 大手物流会社で役員秘書として3年間勤務後、BSフジLIVE「PRIME NEWS」キャスティング担当
- 2011年我孫子市議選当選
- 2015年、2019年千葉県議選当選(すべて完全無所属)

3月31日告示、4月9日投開票の日程で千葉県議会議員選挙が行われます。

信条

現場の生きた情報を活かすことで
直面する課題を解決し、未来へ投資する政策

徹底的に
現場主義!

【手賀沼と周辺環境整備】

①外来水生植物対策



手賀沼の現場視察

手賀沼におけるナガエツルノゲイトウとオオバナミズキンバイの**繁茂面積は約10万㎡**で、令和4年度までで**55,768㎡**の駆除を終えています。水野ゆうきは任期中、あらゆる季節を通じて、手賀沼の状況を専門家とともに調査し、議会にて対策を訴えてきました。



熊谷知事の手賀沼視察

熊谷知事にも視察に来ていただき、令和5年度予算は通年より倍近い**2億1,673万円**余の予算を付けることができました。令和5年度は**24,800㎡**の駆除作業を予定。

②手賀沼湖岸堤防整備事業の推進

～令和5年度中工事完了・供用開始へ～



手賀沼湖岸堤防の整備状況を視察

平成25年に発生した台風26号は、手賀沼湖岸堤を越流し、若松地区の住宅や道路にて大きな浸水・冠水被害が発生したことに伴い、千葉県では手賀沼湖岸堤防の整備を進めています。長期間フェンスで覆われている状況等からも住民のご意見やご要望を踏まえ、議会で質疑し、事業の推進を要望してきました。住民のプライバシーの課題等から県の単独費用で遊歩道を整備することになり、令和5年度中に工事が完了し、供用開始となる予定です。防災の観点のみならず、手賀沼の景観を楽しむ空間構築に向け、進めています。



水田被害の視察

外来水生植物が用水路などから水田へ繁茂を広げており、農作物に影響を及ぼしています。水路の対策を地域全体で徹底的に行う総合的な防除体系を確立していく必要があります。



市民団体との防除作業

市民団体が外来水生植物を駆除する活動に要する経費に補助金を交付する新しい制度が令和4年度に創設されました。水野ゆうきも採択された市民団体とともに駆除作業のお手伝いをしました。

③若い世代と取り組む環境教育と清掃活動



大学生と現場視察

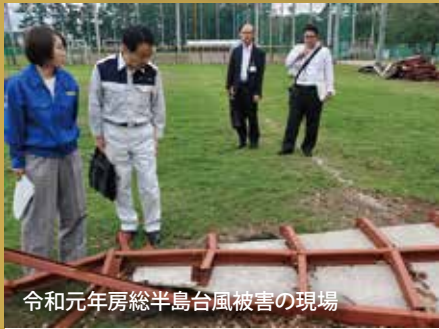
次世代を担う学生の皆さんとともに手賀沼の現状を視察しています。次代の環境保全活動をリードする若手人材の育成を図る『**若者が主役の環境保全活動応援事業**』が令和5年度新規事業として創設されました!



アダプトプログラム

手賀沼調査をしていると驚くのがゴミの多さです。**千葉県河川アダプトプログラム**を活用し、水野ゆうき後援会と大学生で「水野ゆうきと環境を守る会」を発足し、清掃活動に取り組んでいます。

【防災・減災対策】



令和元年房総半島台風被害の現場

千葉県令和元年房総半島台風では12名が尊い命を落とし、448棟が全壊するなど深刻な被害を受けました。さらには大規模な停電が発生し、断水等のライフラインへの被害や交通障害が発生。水野ゆうきは被災した現地へ赴き、生の情報を行政にアップデートしました。千葉県と市町村間の連携が取れなかったことなどの課題を議会で厳しく質疑をし、県のリエゾン（情報連絡員）のあり方や備蓄の情報共有、感染対策を盛り込んだ防災・避難訓練などを提唱し、防災・減災対策を前に進めています。

【横断歩道等白線の補修】

我孫子第三小学校、第四小学校前、白山中学校前、久寺家一丁目横断歩道、我孫子北近隣センター並木本館前、青山台3丁目ダイヤ、柴崎台3丁目、あびこショッピングプラザ前など



我孫子一丁目の横断歩道



我孫子駅北口のマンション前

我孫子駅北口マンション前交差点の歩車分離式による交通安全対策として、子ども・高齢者・障がい者からのご要望により、県警と協議を行い、**歩行者信号機の時間延長とスクランブル化を実現**しました。

【児童虐待防止対策と里親等による家庭的養護の推進】



柏児童相談所を訪問

千葉県の児童相談所における児童虐待に関する相談対応件数は、令和3年度では**9,593件と過去最多（全国4位）**。水野ゆうきは施設整備、人材確保、質の向上等を働きかけています。

●県立柏児童相談所に分室設置

●児童福祉司等の人材育成及び人材確保を推進するため、児童家庭課に「人材育成確保対策室」を新設



里子の高校生とディスカッション

県議1期目から親と暮らすことができない里子支援と里親制度の普及に務め、里子と交流しています。里親支援により里親登録者数は平成28年度の469組から令和2年度は585組と116組増、里親等委託率は24.6%から30.6%と6.0ポイント増。「**養子縁組民間あっせん機関助成事業**」を開始するとともに、令和5年度は里親制度の推進や子どもの権利擁護のため「**社会的養護推進室**」を新設。

【すべての人をサポートするきめ細かい福祉政策】



熊谷知事に直接要望

【保育施設の充実】

千葉県の保育施設における事故報告件数は令和元年は28件であったのに対し、令和3年は41件に増加。保育士の確保と処遇改善を熊谷知事に要望しています。千葉県は保育の質の確保として送迎用バスの安全装置や登園管理システム等の導入補助を行います。



農福連携の視察

【障がい者福祉】

障がいのある方の就労支援として、特別支援学校や事業主、企業等と連携し、農福連携など職域の開拓や職場への定着支援による障がい者雇用の支援施策展開に取り組んでいます。

【交通安全対策～通学路と交通安全確保と自転車事故防止～】



自転車事故現場にて



手賀沼自転車倶楽部で市長に要望

令和4年中における自転車関係する交通事故の発生件数は3,253件で、そのうち死傷者数15人、負傷者数3,172人でした。県民から危険箇所の情報収集を行いながら、歩行者、サイクリスト、ドライバーの視点で我孫子市に安全な自転車通行空間の整備に向けて政策協議を行っています。

【議員活動の見える化と積極的な地域活動】



議会毎に必ず我孫子市内各駅の駅頭にて議会報告を行っています。



県立学校のトイレの洋式化や生理用品の無償配布等の事業について高校生から生の声を聞いています。



熊谷知事をお招きして県政報告会を開催しています。毎回100名以上の方にお越しいただいています。



我孫子駅北口ロータリーの花壇整備のお手伝いをしています。



幅広い世代の方々や子育て施策等について車座で対話を行っています。



救命救急講習を受け、心肺蘇生法、自動体外式除細動器(AED)の使用方法を再確認。

県議2期目はコロナ対策が中心となりましたが、どのような状況下であっても県民へ議会報告を行うことは議員の責務とし、議会後に必ず行う駅頭のみならず、あらゆるツールを駆使して皆様の声に真摯に向き合ってきました。地域住民の生活に密接に関係する地方政治を身近に捉えていただけるよう、党利党略から脱却した、しがらみのない政治家として汗をかきます。

水野ゆうきからのメッセージ

ホームページ



ブログ



フェイスブック

